堺市博物館開館40周年記念無形文化遺産理解事業(2020)

アジアの伝統演劇

無形文化遺産シリーズ展

令和2年 11月3日(火·祝)~11月29日(日)



ベトナムのトゥオン(ベトナム・ダナン市提供)

韓国仮面劇の衣装と仮面(国立民族学博物館所蔵)

中国京劇の衣装 (国立民族学博物館所蔵)

無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ

第28回無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ

躍動する韓国仮面芸能の世界 11月14日(土)午後2時~4時

第29回無形文化遺産理解セミナー

中国の伝統演劇、その魅力 ―京劇を中心に 11月21日(土)午後2時~3時30分

第30回無形文化遺産理解セミナー

ベトナムの伝統演劇チェオとトゥオン ―その歴史と演目― 11月22日(日)午後2時~3時30分

参加:無料/定員:各回30名/要申込(詳細は裏面へ)

ご来館の際のご注意

- 発熱(37.5度以上)や咳・咽頭痛などの症状、だるさ、息苦しさなど体調に不安のある方のご入館はご遠慮ください。
- ・必ずマスクあるいは、ハンカチなど口を覆うものを着用してください。着用していない方はご入館をご遠慮ください。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、予告なく会期や事業などを変更することがあります。

詳しくは、当館ホームページにてご確認ください。

堺市博物館

SAKAI CITY MUSEUM



堺市博物館の開館40周年を記念して「アジアの伝統演劇」を取り上げて無形文化遺産理解事業を行います。

アジア諸国では古来より数多くの伝統演劇が受け継がれてきて、その中にはユネスコ無形文化遺産や国の無形文化財に登録・指定されているものも多くあります。ユネスコ無形文化遺産に登録しているものとしては、日本の歌舞伎・中国の昆曲・粤劇・京劇など、各国の重要無形文化財ではベトナムのトゥオンやチェオ・韓国の仮面劇 (タルチュム) などがあります。本事業では日本でも知られている京劇をはじめ、韓国とベトナムなどアジア諸国の伝統演劇を紹介します。

無形文化遺産シリーズ展

アジアの伝統演劇

○会期:令和2年 11月3日(火·祝)~11月29日(日)

◎会場:堺市博物館展示場内

中国の京劇、韓国の仮面劇の衣装などや日本の歌舞伎とベトナムのチェオ・トゥオンの写真パネルを展示

無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ

◇第28回無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ

テーマ: 躍動する韓国仮面芸能の世界

講 師:神野知恵 国立民族学博物館機関研究員 日 時:11月14日(十)午後2時~4時 韓国には仮面を用いた芸能が多様に存在し、国指定無形文化財やユネスコ無形文化遺産代表リストに指定・記載されているものも多くあります。一方で、海外ではほとんど知られていない素朴で原初的な仮面芸能もたくさん存在します。今回はとくに、打楽器の演奏を中心とした「農楽」のなかで寸劇を演じる仮面の道化師「雑色」について、日本の神楽とも比較しながら紹介します。講義の後半には太鼓のリズムに合わせて簡単な踊りの体験も行います。

◇第29回無形文化遺産理解セミナー

テーマ:中国の伝統演劇、その魅力

一京劇を中心に

講師:瀬戸宏 摂南大学 名誉教授

日 時:11月21日(土)午後2時~3時30分

中国は世界屈指の演劇大国で、かつては伝統演劇として250から300の 劇種がありました。中国伝統演劇は、中国語では戯曲といい、京劇はその代表 的な劇種です。京劇など中国伝統演劇は、中国の伝統文化、風俗習慣と密接 に結びつき、21世紀の今日までさまざまな曲折はありながらも存続し、愛さ れ続けています。今回の講演では、DVDなど視聴覚資料も用いながら、京劇を 中心にその歴史と現状、舞台芸術としての魅力をお話しします。

◇第30回無形文化遺産理解セミナー

テーマ:ベトナムの伝統演劇チェオとトゥオン

―その歴史と演目―

講 師:伊澤亮介 滋賀短期大学

日 時:11月22日(日)午後2時~3時30分

チェオとトゥオンはベトナムを代表する伝統演劇です。しかし、観光資源として活用されている水上人形劇やフエ雅楽などに比べると、我々外国人が目にする機会はあまり多くありません。チェオは、本来、広場に敷かれたゴザの上で俳優が演じ、それを囲む観客は時には俳優との掛け合いに参加するというシンプルな演劇です。一方、トゥオンは宮廷で演じられて発展したもので、後に民間でも演じられるようになった歌劇です。

今回は、その歴史的な展開と代表的な演目を紹介します。

《定員・お申し込み受付》

定員:各回30名(新型コロナウイルスの感染防止のため、通常より定員を減らしています。)

会場: 堺市博物館ホール

参加:無料(展示の観覧は別途観覧料が必要)

お申し込みは電話のみ TEL.072 (245) 6201

11月2日(月)午前10時00分から受付開始。各回先着順30名。

- ●開館時間 午前9時30分~午後5時15分(入館は午後4時30分まで)
- ●休館 日 月曜日(ただし11月23日は開館)
- ●観 覧 料 一般200円(160円)/高校·大学生100円(70円)/小·中学生50円(30円)

※()内は20名以上の団体料金(要事前予約) ※堺市在住の65歳以上の方、障害のある方は無料(要証明書)※堺市内在住・在学の小・中学生は無料 ※11月14日(土)・15日(日)は関西文化の日で無料

堺市博物館

〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内 TEL.072 (245) 6201 FAX.072 (245) 6263 http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/フェイスブックにも堺市博物館の情報満載 https://www.facebook.com/sakaishihaku/



